

岐阜市立岐阜商業高等学校

校長 林 田 仁

学校住所 岐阜市鏡島南2丁目7番1号 TEL 058-251-0165

1 会議の名称 学校評議員会 (第2回)

2 会議の構成

委員	戸野部 正 八	鏡島自治会連合会会長
	竹 本 康 史	岐阜聖徳学園大学教授
	川 田 博 子	元PTA会長
	山 内 義 孝	(株)サムソンフィクセル代表取締役

学校側	林 田 仁	校長
	小野木 仁 孝	教頭
	林 美知尾	教務主任
	秋 田 和 哉	生徒指導部長代理
	森 公 彦	進路指導主事
	小 林 和 豊	商業科主任
	野 村 昌 史	デパート課主任

3 会議の目的 地域社会との連携を一層深め、効果的で開かれた特色ある学校運営を推進する。

4 会議の開催

平成26年1月29日(水) 13時45分～15時45分
岐阜市立岐阜商業高等学校 校長室
委員4名と学校側7名が出席

5 会議の概要

<校長の挨拶>

12月に修学旅行も無事終わり、中国に行ったが、PM2.5の影響も少なく無事に行って来られた。年が明け大きな問題もなく、生徒たちは学校生活を送っている。本日は忌憚のないご意見を願います。この後、情報処理科の実習発表会を見てもらう。

(1) 日程説明 (教頭)

ア 情報処理科実習発表会の参観	13時50分～14時25分
イ 情報処理科実習発表会の感想、意見交換	14時35分～15時45分

(2) 情報処理科実習発表会

- ・場 所 : 視聴覚教室
- ・内 容 : 3年生が情報処理科で3年間学んだ実習に関することを下級生に対して発表する。
- ・参加生徒: 1年生 …… 1A (40名) 2年生 …… 2A (40名)
3年生 …… 3A (40名)

(3) 意見交換

ア 学校の状況説明（教頭）

学校の様子として、進路状況は、数名未内定者がいたが、次の方向も決まっておりの者が決定した。また、国立大に2名合格、岐女短や南山にも合格を決めている。特に名城大学に例年より多く合格した。

検定については、今月試験のあった情報処理検定は問題がややレベルアップしたため、やや合格率が下がった。簿記検定に於いては、2級の合格率は下がったものの1・3級の合格率は昨年より上がった。また、全経上級にも1名合格し、レベルアップした日商2級にもがんばって取り組んでいる。

イ デパート課より

ブッセなどのオリジナル商品や校章バッジはよく売れた。アンケートの結果等は別紙のとおりである。

ウ 市岐商問題特別委員会の行政視察の報告（校長）

10月下旬に市会議員11名と京都市立西京高校（旧西京商業）・北九州市立高校（旧戸畑商業）・和歌山市立高校（旧和歌山商業）を視察してきた。

京都市立西京高校は、中高一貫校の普通科高校になり、国立難関大学に合格者が出てきている。北九州市立高校と和歌山市立高校は、商業科を4クラスにし、普通科を2クラス設置した。商業科は、資格も取れ進学もできるという良さを発信していく必要があると感じた。少子化の影響でまた高校の第二次統廃合があるだろう。その時には、市岐商の存続について市民が応援してくれるような学校にしていかなければならない。

エ 金融教育公開授業の報告

岐阜県金融広報委員会から研究校として委嘱を受け、平成24年度、平成25年度の2年間にわたって金融教育を行ってきた。平成25年11月27日（水）に金融教育公開授業 in 岐阜「賢い消費者になるための金融経済教育」～金融経済を学び、金融トラブルの未然防止をはかる～のテーマで公開授業を行い、住田裕子弁護士の講演会を実施した。NHKのニュースに取り上げられたので、その映像を視聴した。

オ 各分掌よりの報告

・教務部

今年度から新しい入試制度での生徒で、いわゆる「ゆとり世代」でない生徒である。授業等での様子を見てみると、今までよりは、かなり良い方向に変化している。提出物などもしっかり出せるし変わったという話を聞く。また、昨年どおり、授業における学力の定着のために、授業評価を実施している。実態をつかみつつ、生徒が授業で理解できるように授業改善を行っていく。

・生徒指導部

毎朝の校旗掲揚により、市岐商ブランドの確立に向けて、市岐商への愛校心が養われている。ラインやツイッターなどの生徒の無知により問題がややあったが、タイムリーに指導し、今は全体的に落ち着いている。

・進路指導部

毎月どこかの学年で進路の行事を行っている。キャリア教育をめざして計画的に取り組みをしている。就職については、自衛隊に2名合格し、その他に濃飛倉庫運輸・JR東海・大垣信用金庫・十六ビジネスサービス・中部電力等に内定している。内定者に対しては、漢字学習を課題にし、就職後に向けての準備をしている。また、進学決定者にも、英語学習として、全商英検1・

2級の英文和訳を課題にしている。

・商業教育部

市岐商ブランドの確立ということで、人づくりをめざしている。例えば、検定に失敗しても次にどうするかを考えることができる人間づくりを行う。また、市岐商を出てからどういう道に進んでいくかが大切で、社会に貢献していくためにどんな人間が必要かを考えて取り組んでいる。

(4) 質疑応答

意見 1 ・今年の新成人は、およそ121万人で、昨年に比べ、1万人減り今後も減り続ける。
・ゆとり世代の後はさとり世代といわれ、若い人への指導が困難である。
・若い人とのコミュニケーションをとりながら、目標を持たせることが大切であり、1ヶ月の目標、1週間の目標を持たせることが大変であり、目標に向かっての努力が続けられない。個人の力量に合った個別指導が必要である。
・指導者の背中を見せるつもりで、若い者と一緒に朝のトイレ掃除をして、仕事をすすめる上での大切なことを教えている。
・情報処理科実習発表会でのプレゼンは上手である。聞き入る内容のものがあつた。
・小中学校は隔週で土曜日授業日となるが、高校はどうなるのか。
・第1回の評議員会で「市岐商ブランドの確立」について話を聞いたが、学校が何か変わってきたことはあるか。

(校長) ・昔の若い者は、一旗揚げようとか、一攫千金の夢をもっていたが、今の若者にはそのような夢や意欲を感じない。
・今のところ本校は隔週で土曜日授業日にする予定は無い。普通科では7限や90分授業等の対応をしている学校もある。
・愛校心が芽生えつつある。欠席、遅刻、保健室への入室が減少した。

意見 2 ・情報処理科実習発表会で、生徒が私の提言として「体罰問題について」発表したことには驚いた。自分の考えを人の前で発表できることはとても良いことである。
・プレゼンは準備が大変で、良く研究して準備されているのに驚いた。
・不審者問題について、最近この辺りでは聞かないが、無くなってきたのか。

(生徒指導) ・盗撮犯が、生徒の活躍で捕まった。その後は、発生していない。

意見 3 ・情報処理科実習発表会について、聞きやすかつた。去年よりレベルアップしている。マクロの作成についてもよく分かつた。生徒が私の提言として「平和について」の発表も大変良いと思つた。この力を伸ばして欲しい。
・市岐商の情報や資格を取ることで将来とても役に立つということを中学生や中学生の保護者に発信する場があるとよい。

(校長) ・商業高校は世間一般には8・9割が就職と思われているかもしれない。
・中学校から依頼を受けて高校説明会に出席して市岐商のPRをしている。また、夏休みには、本校で高校見学会や10月の中学生1日入学で本校の説明をしている。様々な機会を捉えて本校のPRをしていきたい。

意見 4 ・今年は少し景気も回復しつつあり、昨年に比べて就職状況は改善されつつあると聞

いている。

- ・就職するためには、挨拶ができ、時間を守ることができるような基本的なことができる生徒を育てなければならない。そのためには、まずできることからしっかりやることが人づくりにつながる。
- ・生徒が自分自身を高めようと思うことが大事で、見えないところでいかに頑張れるかである。
- ・先生方の見えない努力がある。感謝の気持ちを持っている。

(5) その他

来年度も情報処理科実習発表会を参観することでよいかという提案が教頭からあり、了承された。

<校長よりお礼の挨拶>

- ・お褒めの言葉ばかりで恐縮である。時には叱咤激励もお願いしたい。